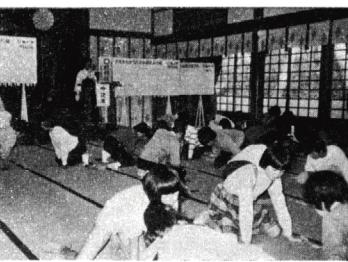






# 第六回 宗像大社 小倉百人一首かるた大会

— 全国各地から参百名参加 —



宗像社の秋を色どる最後の行事として、「第六回宗像大社小倉百人一首かるた大会」が十一月二日、当天社にて開催された。この大会は例年九州各地のかるた愛好者が参加するが、今年は九州で初めてござるが、前年秀蔵氏が主催して全国各地から三百名余りの参加者を数え、名実共に西日本随一の大會となつた。

競技は午前十時より当社の儀式殿、清敷、斎館の会場にて行われた。それぞれの階級ごとに時間に合わせて熱戦が繰り広げられた。特に音合の部では各々がよくその妙技を九州の地に拝見する事が出来てござるが、今までにないことであり、静・動・合せ持つかるものと云ふ事は次通りである。

**A級 三段以上**

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

優勝 松川英夫  
二位 前田秀彦  
三位 岩沢久美子

**B級 初・二段**

優勝 天野千鶴  
二位 杉松田紀  
三位 村山正治  
小山靖司

**C級**

優勝 倉田ゆり  
二位 大橋貴子  
三位 植田琢朗  
保井尚代

**D級 一般部**

優勝 品田美里  
二位 山本圭子  
三位 永野千秋

**E級 チラ取り**

入賞 村尾禪子

\*小学生高年の部

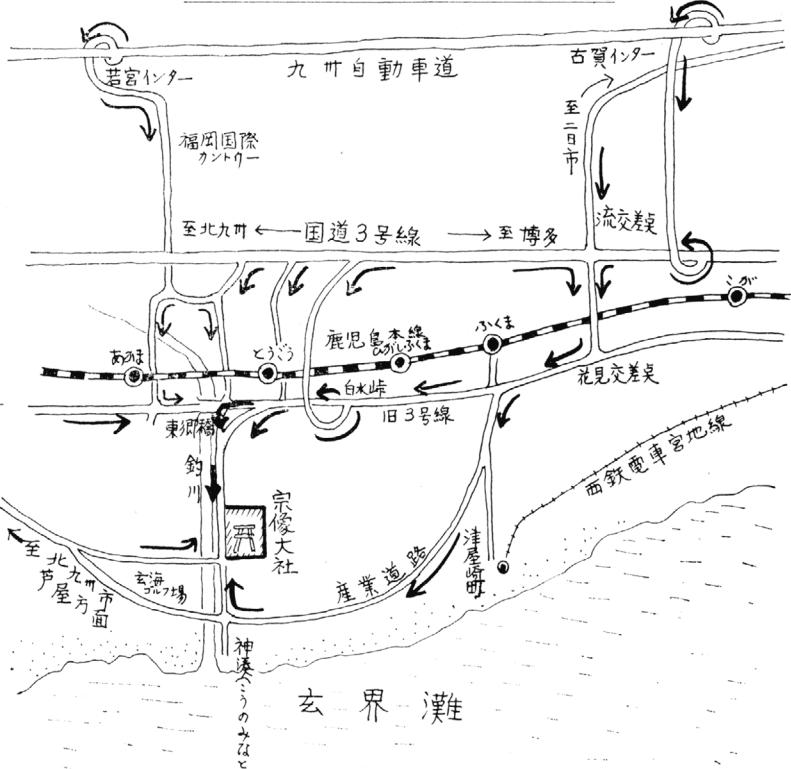
優勝 有浦ゆりか  
兵頭勝美  
二位 上原浩希  
三位 井沢千穂  
福田雅美

優勝 上木恵美子  
伊東ゆかり  
二位 吉島公美子  
三位 東谷よしひろ  
上原歩

**A級 三段以上**

尚成績は次の通りである。

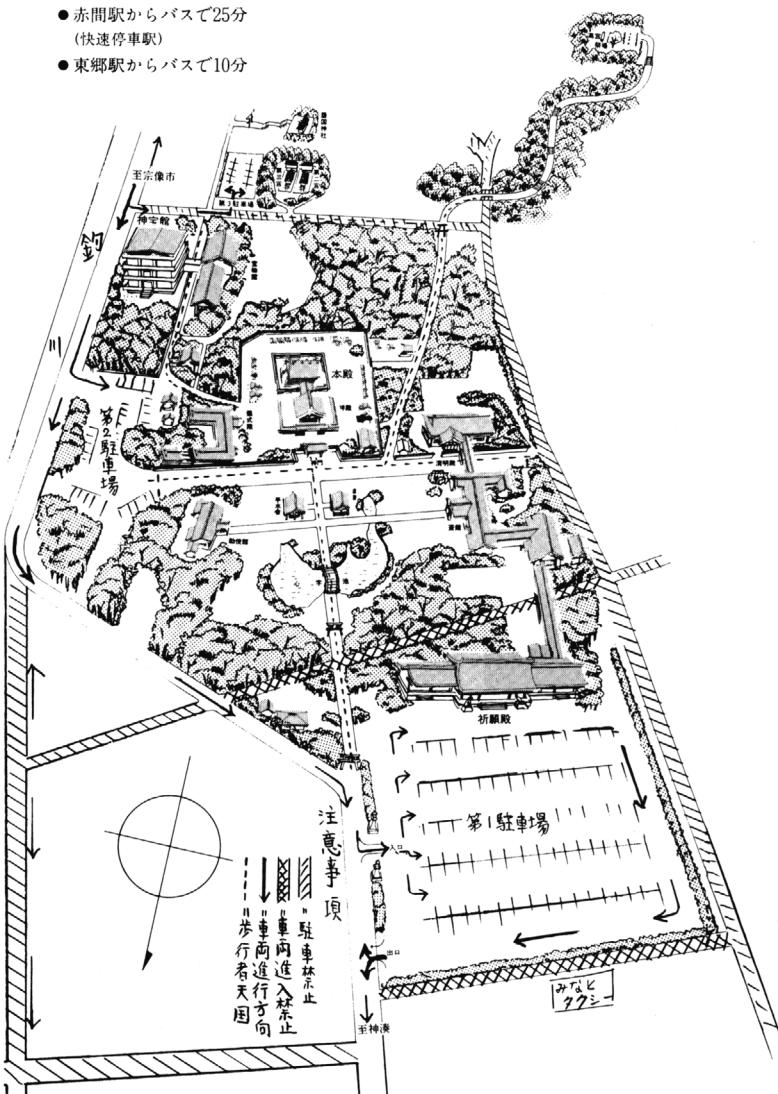
# 宗像大社 正月参拝案内図



## 宗像大社辺津宮境内図

## 宗像大社までは

- 赤間駅からバスで25分  
(快速停車駅)
  - 東郷駅からバスで10分



鐘崎 岩瀬 辰夫	大浦の船足早しの海
八幡山 谷谷 緑雨	霧の露の余韻をいとむ
手向城で消す燈明菊夢の	福 広渡 寿軒
田 熊 力丸 一郎	田 熊 安部 ゆき
菊花優やぐ大社短歌会	さみしきも幸せの井戸に入る
津浦市 井浦 良介	津浦の身なりつ子等に年迎す
福岡中央丸力丸ゆする	流連の身となりつ子等に年迎す
援めりし小春の今日良美切	援めりし小春の今日良美切
名古屋 野崎 傳三	風の木の葉片寄す鶴の音
藤沢市 玄洋子	立葉や冷に薄う風の冷へ

宗像大社歌会俳句作品集(三八)

宗像郡考古字散歩

(26)

大浦の船足早し冬の海	鐘崎 岩瀬辰夫	奴山33号墳	(津屋崎町勝浦所在)
八幡西磯谷	露の径雲の余韻いとおしむ	福島	福島一寿軒
緑雨	手閉門消す燈明や帝簾る	田 熊力丸	津屋崎町勝浦字月花に所仕した
	菊花展華やぐ大社短歌会	一郎	坂山33号墳は消滅してしまな
	田 熊安部ゆき	・	宗像農業協同組合の巨匠大矢力
さみしきも幸せのうち冬に入る	トリエーベータ建設によつて	・	南は5-6メートル程の落
津屋崎 井浦 良介	こわされたのである。同敷地には	・	南の直径約13メートル、高さは
流鶯の身を知りつゝ暮す年を迎	他に34号墳と曰ふものもあつたが、11号墳は津屋崎町の分布査で記載されていない。	・	南北軸約2メートル、南東側で
福岡中央丸力丸ゆする	保存さ	北側で約2メートル、南東側で	3メートルを越える。埴井石はす
授かし小春の今日を大切に	れる」とになった。11号墳は高さ	付近が沖縄潮に寄せていたと思	れ露出していた。埴井部では植
名古屋 野崎 傳三	さる」とになった。11号墳は高さ	付近が沖縄潮に寄せていたと思	められたのである。
風の木葉芭蕉す朝の宮	境内は	われのそのなか環境に之の古墳	は營まれたのである。
藤沢市 玄洋子	で石室に南西に開く。	は廃れていたのである。	
立ちやねに涙う風の冷へ	さて坂山33号墳岐成山古墳群に	さて33号道の規模を奴山古墳群	
属し、前後方墳を含む	3基の報告書から抜抜書きして	さて33号道の規模を奴山古墳群	
数基	みた。	（津屋崎町文化財調査報告書、第	
		3号）	
		多くの古墳が盗掘を受けている。	
		うに、本墳も既に盗掘を受けてい	
		る）」が分る。築造当初の復元	

トニー  
・右壁  
前面の  
隧道が  
は長  
ノ部で  
・左壁  
測  
ルを  
メー  
中室  
室中  
・左壁  
は1対  
5対  
室長  
本ほ  
りの  
の侵  
かまほ



僅か力四点  
蓋のみであつ  
しかし漁浦  
埴丘中から  
類の土器が少  
た。特に古墳  
らは須恵器四  
十師器十個有  
士。特にこれ  
器群はハグリ  
わけられ  
等かの祭祀が  
た供獻土器と  
れる。また契  
く変化に富ん  
であつた。特

赤褐色をもつて、环身、环等に分けられ、師器は高环等に分かれ、其の全貌を知る爲めに荒されていなかったのである。

基調とした  
蓋、提瓶類  
小塊、脚付  
れる。石室  
るために、  
るが、出  
の祭祀が當  
は、何より  
墓所の完  
に墓所を造  
るためにな  
る。液体

種類質土器  
がある。  
塊、脚付  
肉の遺物  
その副葬  
出来ない  
のセット  
あつたと  
るだけで  
當まれて  
元(造成  
後などの  
の遺物が  
明であ  
を入れる  
皮袋形土  
器。

3号噴出  
打ち欠かれ  
ほぼ元形品  
チ、器高1  
形25センチ  
脇部最大厚  
さ。皮袋の  
紐山帶と併  
用する。施又  
土には微少  
良好で堅固  
かく、暗  
灰色を呈す  
）、皮袋製

主のものは、さうしたが、同じく起線の文様で、多古のものである。

（同報告書例）は福岡県  
例は福岡県  
壇から出土し  
をもわせな  
をもつけたも  
復元すれば  
縁径9セン  
チ、底部長  
2センチ、  
チを計測す  
縁径は粘土  
されていな  
ある。胎  
み、焼成は  
うす灰を  
色を帯びた

島経営の叛乱後半島情勢濃い一面だらうと、紀中葉頃しての「渡海基地」(奴山)調査報寫真

九州は畿内に、紀中項と推定される。足場として、玄界灘に立地する。津宮家等が、任那の一つと推定される。古墳群、津生書第三号墳出土。